



希 望 橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

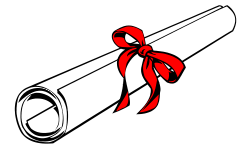
電話 0256-86-3007

第76回 卒業証書授与式

3月6日(月)

3月6日(月)、36名の卒業生が立派に巣立ちました。快晴の天気にも恵まれ、厳粛な中にも、感動的な素晴らしい卒業式でした。特に、卒業生代表による「答辞」は、コロナ禍で中学校生活を送ってきた三年間を振り返り、これまで支えてくれた皆様、仲間への感謝の気持ちにあふれています。新型コロナ対応のため、卒業式に参加できなかった在校生、地域の皆様にも、ぜひ卒業生の想いをお伝えします。

答 辞



開花を待つ桜の息吹と本格的な芽吹きを季節を迎えました。

日差しは日増しにやわらぎ、春の訪れを感じる季節となりました。

私たち三十六名は、三年間の中学校生活に幕を閉じ、卒業の時を迎えました。ご来賓、保護者、先生方、そしてご臨席いただけなかった在校生の皆さん、本日は私たちのために、このような盛大な卒業式を挙げてくださり、本当にありがとうございます。卒業生一同、感謝の気持ちで一杯です。

私たち三年生は、三年前の春、新型コロナウイルス感染症という不安と、これから始まる「きらびやかな青春」という期待に包まれて、潟東中学校に入学しました。あっという間に三年の月日が経ち、私たちも、ついに自分が選択した新たな青春を、作り上げる場所に飛び立とうとしています。こうして共に過ごした仲間を前にすると、多くの思い出が頭の中を駆け巡ります。

今年度も昨年度と同様、感染症対応のため、様々な学校行事や部活動が制限、縮小を余儀なくされました。修学旅行は、当初の予定を変更し、新潟県内となってしまいましたが、沢山の皆さんのおかげで、一生の思い出に残る旅行にすることができました。

今年度の学校行事は、開催できることのありがたみを感じながら「さらにこの学校生活をより良いものにしよう。」と皆で団結して行うことができました。

「絢爛(けんらん)」と「風靡(ふうび)」、二つの連合に分かれ、競技や応援、パネルを競った体育祭。今年度も半日開催でしたが、心を一つにする気迫の応援やダンスコンテスト。色彩豊かなパネルや全校生徒が力を一つにし、グラウンドを駆け回った競技など、生徒達の笑顔が太陽のように輝いた躍動感と一体感のある体育祭となりました。

内容も時間も多くの制限がありましたが、私たちにとって、これまでの体育祭を超える思い出に残る行事となりました。

合唱発表会では、命の尊さと、友達との想いを歌った「群青」と、違う道に巣立つ仲間の別れを描いた「yell」を合唱しました。私たちの力強く繊細な歌声がホール中を包み込み、聴いた人を感動の渦に巻き込みました。そして、歌い終わりと同時に大きな拍手を頂き、私たちは大いに感動したことを覚えています。

明風祭では、「全校生徒がいかに楽しめるか。」ということテーマとしました。今年度も地域の方々や保護者の皆様をお招きすることはできませんでしたが、工夫を凝らし、全校生徒が大いに盛り上がるのでした行事となりました。中でも、ありったけのアイデアを出し合ったライブは、皆さんの協力と努力が合致し、素晴らしいものになりました。正に、全校生徒で作った思い出に残る明風祭でした。

三年間、沢山の汗や涙を流した部活動。私たちにとって最後になる市内大会やコンクールは、今年度は無事に開催されました。これらの大会に向け、沢山の努力で培った仲間たちの絆は、かけがえのないものになりました。また、部活動で培った精神力や体力、そして感謝の気持ちは、これからも私たちを後押ししてくれることと思います。

生徒会活動では、スローガン「千射万箭（せんしゃばんせん）～踏み出せ瀧中の頂へ」のもとに行った数々の活動は、大きな成果を残すことができました。これは全校生徒の協力があったからこそです。これからの瀧中は、今、会場にはいませんが、在校生の皆さんが活動の中心的存在になります。良き伝統は引継ぎ、改善点はより良くなるように見直しを図り、新しいことも積極的に考え、実行していきましょう。古きを温めることだけでは、進化することはできません。新しいことを取り入れ、この瀧東中学校を進化させていきましょう。

今、静かに振り返ってみると、私たちが今日、この卒業の日を迎えるまでには、沢山の大きな壁が立ちました。そのような時に、いつも見守り、そっと手を差し伸べてくださったのは、校長先生をはじめとする先生方です。私たちのことを考え、時には厳しく、いつも温かく導いてくださり、ありがとうございました。先生方から教わったたくさんのことを心に留め、未来へと力強く歩んでいきます。

ご来賓、地域の皆様には、小さい頃から温かい眼差しで私たちの成長を見守って頂きました。心から感謝しております。これからも沢山の経験を積み、生まれ育った瀧東地区に貢献できるようがんばります。

保護者の皆様、私たちを大切に育てて支えてくださり、本当にありがとうございました。私たちがどんな状況に置かれていようとも、いつも変わらない太陽のように温かい大きな愛で包んでくれました。今まで沢山の迷惑や心配をかけてしまいましたが、どんな時も私たちのことを一番に考え、味方になってくれました。これからも自分たちの選んだ道を温かく見守ってください。そして、これからもよろしく願いいたします。

さて、卒業生の皆さん。私たちがこうして瀧東中学校で過ごせる日々も今日が最後となります。共に培った知識・経験、そして友情は、これからも私たちの心の中で生き続け、人生をより良いものにしてくれるはずですよ。これから先どんなことがあろうとも、未来に広がる可能性を信じ、自分の力で切り開いていきましょう。この三十六名の仲間と共に歩んだ思い出と誇りが、私たちの背中を後押ししてくれるはずですよ。

最後に。私たち卒業生は、私たちを成長させてくださった全ての方に感謝し、自分が決めた新たな青春の道を歩み続けることを心から誓い、答辞とさせていただきます。

令和五年三月六日

卒業生代表

